毘沙門の名號に就いて

南方熊楠

青空文庫

クベラ、又クピラが毘沙門天の異名なる由は、佛教大辭彙巻一俱肥羅天の條既に述べある。

熊楠謂く、此二名が一神を指すを立證するに最もよき文句は、梁朝に勅撰された經律異相巻四一に羅閲城人民請佛經から引た者だ。佛が鷄頭婆羅門の供養を許した時、釋提桓因（帝釋）語　沙門天王曰、拘※羅（クベラ）汝此婆羅門辨第三食、答曰受教とある。クベラは實名、沙門は通稱の如くみえる。アイテルの梵漢辭彙一九三頁には、此神、前世夜叉なりしが佛に歸依して沙門たりし功德により北方の神王に生れかわつた。其沙門と成た時、他の沙門共驚いて伊是沙門と叫んだ、それ故毘沙門（ヴアイスラマナ、是男も沙門かの義）の稱へを得たとあるが、これは何の經に出た事か識者の高教をまつ。伊是沙門は音義兩譯らしい。金　羅（蛟神）は、大灌頂神咒經巻七などをみると毘沙門とは別神らしい。印度で古來鰐を拜する其鰐神だろう。吾邦に金　羅を航路の神とするも此因緣か。佛弟子に金　羅比丘あり、獨處專念を稱せられた（増一阿含經三）是も鰐を奉じた氏子だらう。　（大正一五、三、集古、丙寅ノ二）

青空文庫情報

底本：「南方熊楠全集第六巻　〔文集※［#ローマ数字2、1-13-22］〕」乾元社
　1952（昭和27）年4月30日発行
初出：「集古　丙寅ノ二」
　1926（大正15）年3月
入力：小林繁雄
校正：フクポー
2017年3月11日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

毘沙門の名號に就いて

南方熊楠

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/